

未来の建築を担う仲間と一緒に成長しよう！

来たれ！第24期生（2019年4月入学生）

カレッジ通信

編集・発行
東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎！

TEL
03-
5950-1771

東京建築カレッジの第24期生（来春4月入学生）募集がいよいよ本格化します。日本の大工技術を通して建築の基礎を学べる本校の教育プログラムは国内外から注目されています。2年間の学びは人生にとって貴重な経験となるでしょう。積極的に応募をお願いします。授業見学も大歓迎です。

親切・丁寧な指導、未経験者でも大丈夫。真面目に学べば新しい自分に！

「建築の仕事に就きたいけれど、何をどう学べば良いのか」、「大学の建築学科は設計中心。木造のことは少ししか学べない」。若い世代の建築

への関心は高く、本校には様々な方が訪れます。その方々に私たちは、「森林大国の日本における建築の核心は木造にある」「自然と人にやさし



「若手採用・育成に活用できる」カレッジ事業主会にご参加を

建築業界の若手技術・技能者不足はきわめて深刻です。業界を挙げて、建築の仕事の魅力と働きがいアピールしていかなければ、5年後、10年後は重大事態に陥ります。

本校では、建築カレッジを新人採用とその教育に活用する

い家づくりのニーズが高まる中で、建築カレッジでしか学べないことが光ると、胸を張って答えています。

大学や専門学校で学ぶ基本の教育を揃える一方、実習棟実習や規矩（きく）術演習などで他の教育機関では経験できない学びを提供しています。この特別な教育を共に受けた仲間ができることも大きな魅力です。授業は毎週金曜・土曜（年末、年度末除く）、お気軽に見学にお越しください。

中小建設事業主を募集しています。優秀な人材獲得をめぐるの大手企業との激しいたたかいに打ち勝つために、本校の教育制度をご利用ください。すでに中小建設事業主による活用事例が複数あります。条件が合えば厚生労働省の「人材開発支援助成金」が利用できます。ご相談ください。

「匠の技の祭典2018」伝統建築の魅力を発信



初日の開会式の後に視察に訪れた小池百合子都知事。片岡茂樹 東京建築カレッジ教務運営委員（写真左）は日本古来の軸組み構法の魅力と大工技術の値打ちについて説明しました。

東京都主催「伝統と革新 ものづくり 匠の技の祭典 2018」が8月8日から3日間、東京国際フォーラムで開催されました。本校の先生方は大工技術の実演と解説、伝統建築の上棟式で参加しました。

熱心な見学者から様々な質問が出されました。その中で目立ったのは、「このような建築方法、どちらも私たちの直面する課題を突く問いかけです。伝統の知恵と技を現代に生かすにはどうしたら良いか、考え行動していきます。」

1年生の授業から

「材料実験」



建築カレッジでは、鉄筋、コンクリート、鉄筋コンクリート、木材といった様々な建築材料の物性を実験で確認する授業も行なっています。

最初は試供体の寸法をノギスを使って測るところから。コンクリートの調査設計を学んだ後に、実際に製作させます。圧縮と引張りの実験データを正確に記録し、一つひとつの実験について「考察」も入れたレポートを期日までにまとめさせます。

（写真は8月17日の授業）

2年生の授業から

「構造力学演習」



遊んでいるわけではありません。自分たちで施工した構造物の強度を確認しています。（8月24日）

建築士や建築施工管理技士などの国家資格受験で避けて通ることのできない「構造力学」。建築カレッジでは、建築に作用する力を身体で実感する授業を行っています。

1年次は、四ミリの角のヒノキの棒を綿糸で接合し集中荷重への耐力を確認するトラス模型実験、2年次には、1枚だけでは弱い合板を構造的に強める方法を、理論と実践の双方で学んでいきます。並行して、構造と美の関係を学ぶ双曲面デザインの作品づくりも。

カレッジ生の学ぶ意欲を引き出す様々な工夫を凝らしています。

戦場ジャーナリストが語る現代の戦争

建築カレッジには教養科目もあります。そのうち1年生向けの「建築文化論」では毎年8月に、戦争と平和をテーマに特別授業を実施しています。

をかためよう！――こうした狙いから、建築職人の大先輩から戦争体験をお聞きする授業を行ってきました。

このテーマは直接的には建築とは関係がないように思われるかもしれませんが、①誰もが幸せに暮らせる、快適な住まいを実現するのが建築であり、それを不可能にするのが戦争！②過去の戦争で先輩たちは建築のプロとして戦争に協力した（させられた）。もう二度と同じ誤りは繰り返さない決意

今年は「現代の戦争のリアルを学ぼう」という表題で、パレスチナ・ガザ地区など中東を中心に戦場取材を続けるジャーナリスト、志葉玲さん（写真）をお招きし、大国の思惑のしわ寄せを受け、戦争の危険に日々苦しむ人々のこと、日本の進むべき道はどこにあるかなどを学びました。



海外現地取材による写真や動画を多数紹介しながら、人々の暮らしを戦争がどのようにゆがめているのか、日本の加担状況はどうか。志葉さんは熱く語りました。カジュアルな語り口のため、「北朝鮮や中国をどうみるか」など、質問も相次ぎ、双方向型の活気ある授業になりました。（8月10日）

授業見学9月の見どころ

授業は毎週金曜・土曜日。入学応募予定者以外でも見学は大歓迎です。但し、事前に必ずご連絡ください。

- ◇ 1年生は、9月8日
- ◇
- ◇

日（土）、江東実習場で行なう「軸組み実習」が最終回。この日に来ていただければ、全10回の授業の成果である4つの班の小屋組みをご覧いただけます。そして9月29日（土）に

は前期の実習棟（1階が伝統構法、2階が在来構法）の「解体実習」が行なわれます。こちらも江東実習場です。

- ◇ 2年生はすべて池袋校舎。8月31日から「建築測量」の実習が始まります。ま
- ◇
- ◇

た、「伏図・梁計算」の授業が9月1日から始まります。

一方、規矩（きく）術演習は、「風呂イス」を終え、9月8日（土）からいよいよ「四方転び」へ。競技大会の入賞作品と見比べると、この課題の難しさを納得していただけます。